THE NIKKAN KENSETSU TIMES

2018（平成30）年

5月31日（木曜日）第14278号

千葉版

昭和41年12月14日　第3種郵便物認可
©日刊建設タイムズ社2018

日刊建設タ

きょうの紙面

公共　千葉市文化交流プラザ売却先に大和ホームズ　2

民間　浦安市宅地開発／渡邉マンション新築工事等　3

業界　千建協／盛大に懇建設業への理解促

# 約4.2haの基本構想を

市川市は6日開会の6月定例議会に、一般会計で2000万円を追加する本年度補正予算案を提出する。本庁管内公園緑地施設整備事業費1億4000万円余りとともに、本八幡駅北口地区再開発基本構想作成委託料800万円を盛り込み、すでに整備済みの本八幡A・B地区に接する中央通りから東側の再開発促進地区約4・2haのまちづくりの方向性を検討する。

本八幡駅北口地区は、JR本八幡駅、京成八幡駅、立地環境にあるが、低層の木造住宅が密集し、有効な土地利用が図られておらず、防災面からも課題を抱えている。

こうした中で、中央通りの西側ではA地区（約1・4ha）、B地区（約0・4ha）、C―1地区（約0・43ha）、D―1地区（約0・27ha）、D―2地区（約

完了している。

今回の基本構想では、中央通りから東側の再開発促

## 補正の主な内容

《一般会計》

【総務費】

▽財政調整基金積立金＝▲1億7579万8000円▽企画政策アドバイザー報酬＝246万3000円

▽いちかわスポーツフェスタ負担金＝500万円

【土木費】

▽本庁管内公園緑地施設整備事業＝1億4241万3000円。①不動産鑑定

況や課題、住民の意向などを調査し、まちづくりの方向性を明らかにする。

## 県コンクリート製品協組が総会

# 販売価格の適正化

## 価格1割アップ目標に

千葉県コンクリート製品協同組合（保美善和理事長、組合員23社）の第50回通常総会が25日、千葉市内の千葉京成ホテルミラマーレで開かれ、18年度事業計画及び収支予算などを全会一致で可決した。事業計画では、組合員の健全な経営とその従事者の生活の安定を確保するため、販売価格の適正化・県産品コンクリート製品の需要拡大・新製品の開発及び普及拡大を中心に事業を計画した。

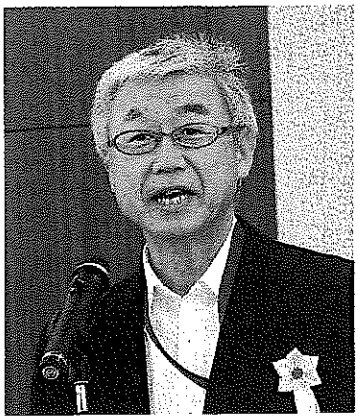
（3面に関連記事）

総会後の懇親会であいさつした保美理事長は「国内では景気回復が期待されているが、我々を取り巻く環境は依然として厳しい状況にある」と指摘し、「企業経営の安定化を図るには、回復を待つだけではなく、我々自身が行動を起こす必要がある」と述べた。原材料の値上がり、労働者不足による賃金の上昇などにより、コンクリート製品の生産コストが上昇していることから、「単価を上げて対応しなければ会社の経営が成り立たない。力を合わせて今の価格より1割アップを実現したい」と組合員の協力を呼びかけた。

### 優れた製品の安定的確保で連携強化

来賓を代表して、県県土整備部技術管理課の神田成人副課長は、『ちば千産技術』の取り組みについて説明し、「多くの方々に新技術・新製品のPRの場として活用していただきたい」と呼びかけた。さらに、i―Constructionに言及し、「コンクリート工の生産性向上に向けたプロセスの全体最適化として、現場での作業を少なくし、生産性向上の効果が期待できるプレキャスト製品の導入などが検討されている」と紹介。

「県としても、優れた製品を安定的に確保するうえで、これまで以上に貴協会と連携していく必要がある」と協力を要請し、祝辞とした。



神田副課長

保美理事長

北口地区
成委託＝
【教育
▽小学
助事業＝
円。①
ム改修
00円）
助費（6
他▽放
事業＝
設修繕
②事業
0万円）

## 佐倉市

佐倉
特別養
型）を
募集す
集要項
から7
を受け
定員1
と定員
設。形
ト型（
可）。
が対象
9～20
開設す